

マハーバーラタ (07)

カウラヴァ (クル) ・パーンダヴァ (パンドウ) 家の系図 ,
古代インド地図 ,

0013. 魂について——ビーシュマの教訓 (九) ,

0013. 0001. / 解脱への二つの道 ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0013. 0002. / 与える者と受け取る者 ,

0013. 0003. / 魂は移り住む ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0013. 0004. / “彼”を知ることによって人は不死となる ,

0013. 0005. / 最高に不可思議にして至高の人 ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0013. 0006. / 滅びるしかない体には幸せの源はない ,

0014. 人生について——ビーシュマの教訓 (十) ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0014. 0001. / 空っぽの部屋のバリ,

0014. 0002. / ヴィヤーサの教え,

0014. 0003. / 四段階の生活方式 ,

0014. 0004. / 魂の原理 ,

0015. 死について——ビーシュマの教訓 (十一) ,

0015. 0001. / 生類の誕生と死のはじまり ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0015. 0002. / 頭に巣をつくられたバラモン,

0015. 0003. / 父に命じられた母殺し,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂靜の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0015. 0004. / 死刑について ,

0016. 至高者について——ビーシュマの教訓 (十二) ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0016. 0001. / 過去、現在、未来はすべてヴェーダに存在している、

0016. 0002. / 信奉者のいない神、

0016. 0003. / 六色の魂,

0016. 0004. / インドラ神に憑いた罪の女神,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0016. 0005. / 供犠祭をぶち壊したシヴァ神 ,

0016. 0006. / シヴァ神への讃歌 ,

0016. 0007. / 解放されている者 ,

0017. 解脱について——ビーシュマの教訓 (十三) ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0017. 0001. / ヨーギンとヤティの歩む道 ,

0017. 0002. / 解脱の状態 ,

0017. 0003. / 聖仙ヴァシシュタの教え ,

0017. 0004. / 二十五番目の質問 ,

0017.0005. / 放棄への道,

0017.0006. / シュカの解脱と木霊,

0018. 神について——ビーシュマの教訓 (十四) ,

0018. 0001. / 神々の礼拝する神 ,

マハーバーラタ (07) / [12] 寂静の巻 (後) (シャーンティ・パルヴァン)

0018. 0002. / おお、青蓮の眼を持つ方よ、

0018. 0003. / 姿を現わした永遠の神、

0018. 0004. / 神々の役割 ,

0018. 0005. / 破滅し、創造する世界 ,

0018. 0006. / 宇宙の主,

0018. 0007. / ヴィヤーサの前世,

